

# 高齢者住宅新聞

2018年6月27日号 (第499号) 10面

第499号

(第3種郵便物認可)



地域包括本部  
池の中孝輔 本部長

ヒューマンライフケアが、横浜市でグループホームや小多機を開業するのは初めてだ。横浜市と隣接する川崎

## 横浜で複合施設 神奈川東部でドミナント展開

ヒューマン  
ホールディングス

ヒューマンホールディングス(東京都新宿区)の子会社であるヒューマンライフケア(同)は6月1日に横浜市港南区に小規模多機能型居宅介護とグループホームを併設した複合施設「ヒューマンライフケア下永谷グループホーム・下永谷の宿」を開設した。同社が運営する小多機は27事業所、グループホームは16事業所となった。

市ではグループホーム8事業所、小多機4事業所、看多機1事業所を運営している。今回

の新規開設により、神



▲施設外観

奈川東部エリアにおけるドミナント展開をさらに強化する。

同社は高齢者人口が増加する東京23区や川崎市、横浜市など首都圏の5つの主要エリアでドミナント展開を



▲施設説明会の様子

し、小多機とグループホームが併設した地域密着型施設をメインに展開する予定だ。

「今後、高齢化率の高いエリアに地域貢献する理念をスタッフで共有したいと考えてい

る」(地域包括本部池の中孝輔本部長)

下永谷グループホームの定員は18名、要支援2以上を対象にして

いる。7月中に15名が入居する予定だ。下永谷の宿の定員は25名、

通所が定員15名、宿泊定員は9名。現在、10名が利用している。

施設が併設しているのでイベントなどを合同開催できるだけでなく、スタッフの成功事例も共有できる。

「小多機の利用者が認知症の進行などにより、在宅生活が困難になった時、なじみの環境の小多機と併設しているグループホームに入居することで、本人や家族には安心感をえられる。一方、スタッフは利用者の状況をスムーズに引き継いで対応できる」(池の中本部長)

「地域の日常の一部になりお互い楽しめるような地域の拠点となることを目指す」(池の中本部長)

介護サービスを受ける段階でない人でも、自由に施設のイベントなどに参加して施設を理解してもらうことを考えている。